

## NGO・外務省定期協議会「ODA政策協議会」 ODA過去案件共同レビューの実施方針

### 1. 本件レビューの目的

本件レビューの目的は、過去のODA案件をレビューし、PDCAサイクルにおける課題・教訓を明確化し、教訓の拡充・活用方法の検討を行うことにより、ODAの更なる質の向上を図ることとする。

特に、過去案件から得られる教訓の拡充・活用方法の検討を中心に行うこととする。

### 2. 実施方法

NGO・外務省定期協議会「ODA政策協議会」（以下「協議会」と言う）の下に、ODA過去案件共同レビュータスクフォース（TF）を設置する。タスクフォース（TF）のメンバーは、協議会の構成員である外務省、NGOに加え、レビューを受ける立場としての実施機関たるJICAとする。レビューは以下の3段階で実施する。

- 第1段階：机上分析によるレビュー（以下「机上レビュー」）を実施し、共通した問題点やその要因等を抽出する。
- 第2段階：机上レビューにおいて明確にならなかった点などをレビューするための共同現地調査を実施する。（調査対象国・案件は机上レビューの結果を踏まえ検討する。）
- 第3段階：今後の質の向上のために、PDCAサイクルの強化に向けた教訓の拡充・活用方法を検討する。

### 3. レビュー対象案件の選定方法

タスクフォース（TF）にて、外務省、NGO、JICAの3者で協議の上、決定する。

### 4. タスクフォースの開催方法

NGO側メンバーについては協議会のNGO側で選定するが、メンバーの合意があればメンバー以外の参加を可能とする。

タスクフォース（TF）会合を数回開催し、必要に応じて協議会に報告する。議論についてはチャタムハウス方式（発言者名の対外引用不可）。また、議事の要約は公開する。

（参考）開催スケジュールのイメージ（仮）

- 2013年4月～6月：机上レビュー（タスクフォース（TF）会合を数回程度開催）
- 2013年7月～9月：現地調査実施
- 2013年10月～12月：教訓抽出・成果物作成（タスクフォース（TF）会合を数回程度開催）

### 5. 想定される成果物

レビューの結果は報告書あるいは教訓集等にまとめ、幅広く公開するとともに、ODA政策協議会や適正会議等で報告・発表する。報告書／教訓集のクレジットはODA過去案件共同レビュータスクフォース（TF）（NGO・外務省）とし、NGO・外務省の両者が合意できる分析・提案を記載する。（ただし、両者で異なる見解を有する部分がある場合には、両論併記もあり得る。）